

奴隸天使苗床改造 スライム公開出産



ずちっ…ずちっ…ずちっ…
「んんん…んんん…んんん…んんん…んんん…んんん…んんん…」

ほあ、これはいい。

よくんんんんんん

開発しましたな。

「んんんんんん？」

身じろぎささえ

てきな状態て

魔物に全身の穴を

犯されながら、

それでも快樂に喘ぐ

元・天使の雌奴隷…。

アナルもまあ、よくもんんんんんん

ぽっかりと拡げて…。



「全身を性感帯に作り変えてやったんだ。それに常に媚薬を粘膜に塗り込んであげてる。」

元々乳も尻も

規格外の

デカさだったけど、

まだまだ

あつぎく

なるよ

思うよ」

素晴らしひ。

この丈夫そうな

身体なら、

壊れそうには

ありませんな。

「んんん、むぐうう、……んもあん……う！」

あつと、どつぷりと精液が噴き出して……

しつかり絶頂しながら受精したようです。



「もういつぱいになっちゃうた。

いつもこのほしちやダメだうて

躰けてるんだけどなあ。

まあ、飲み込めな

くらいの量の精液を

搾り取る雌穴なら

仕方ないか」

どろりと粘り気のある

濃厚な精液……

これはまたたくさん

孕めたこと

でしようなあ。

子が生まれるまでしほしの

だらしない無様な様子を愉しみますか。

「はあ……あぐ……う……う……う……う……う……う……う……」

「ミルクも噴き出してきたし、そろそろかな。よく見てね、

僕のミルクドールちゃんのスライムを

産みながらイきまくる痴態を。

こんな目に遭ってるのにここまで

蕩けた顔と声でアクメ

しちやうんだ」

「はああ？…

い…やあ…うみなり、で、

見な…はっひひいっんああああんっ」

おお！媚肉を

愉しめるだけじゃなく、こんなに魔物を産んで

冥界に貢献してくれるとは…いやあ、賞賛に値する

立派な苗床肉奴隷ですなあ。



「んはあ……はあ……ひう……」

「んぐ、これて全部

産まれたかな？

産みながら何回

イッたんだい？

恥ずかしい淫らな

雌穴が

このんなに

開いて

ぱくぱく

ひくひく

してるよ。

まだ

物足りないのかな。

大丈夫、

次の出産ショーの

あとは観客みんなに

抱いてもらうからね。

このスライムを啜えて。

ほら、媚薬にもなるから……♡」

「はぐろ……！んむ、

んむ……んむ……！」

ああ……あ……ひど……肉……
もう……何度目なの……
スライムに
飲み込まれて……
指一本動かせなけ
ようじにされて……

カラダ全部の
穴を
不浄な
モノで
貫かれ……

ついでには……
魔物まで
身籠らされ、
産まされる……
それを、こんなに
多くの魔物の目の前で
晒されるなんてえ……う

なのに……カラダが……いつ……ことを……きかないの……う……
また……ああ……絶頂させられ……あああはあひん……う













